

2024年7月21日 ソーレ谷

メンバー L 谷内 村中 伊藤 森田 岩田 (記録)

ちょっと遠出して飛驒のソーレ谷へ行きました。入渓点に一台、脱渓点一台車を置くスタイルでアプローチなしで沢登りを楽しめました。(ただし、交通費が高くなるので、次からは自転車を持って行って車一台で行こう)

入渓してすぐに枝沢へ。(写真①) 一つナメ滝(写真②)を越えると五郎七郎の滝が現れた。(写真③) 見事なナメ滝です。

本流へ戻るとトラブル発生。メンバーの沢靴のソールが剥がれました。(写真④) 最近もらった沢靴だが、長期間倉庫に保管してあった物とのこと。古い靴には気を付けなといけませんね。テーピングテープで補修して何とか歩きましたが、フェルトよりは滑りやすそうでした。

しばらく本流を進み、また、枝沢へ。今度の枝沢は木に覆われているからかとても暗く感じました。この沢の先にも立派な滝。(写真⑤) この滝は垂直に落下する岩洞滝。

また本流に登り、ナメの沢を歩くと、今回最大の簗谷大滝。(写真⑥) 巨大な岩壁をなめるように水が流れます。ここは左岸に立派な巻き道があり、ペナントも完備されていました。

巻道から本流へ戻り、歩きやすいナメを進むとすぐに二股の滝が現れます。本流の左岸にフィックスロープがあるが、信用できないので、リーダーが体重をかけずに登り、持参したロープをフィックスし、メンバーはそちらを頼りに登った。登りきると予想通り既存のフィックスは結構すり減っている。使うときは気を付けてください。

二股の滝の上からは明るいナメ床の沢を歩く。とても気持ちがよく、また、沢底が平らでとても歩きやすい。ところどころに淵があり、森田さんが水に浸かって楽しむ。(写真⑥) 女性は水に入るのが好きだなあ。自分には無理です・・・

最後まで気持ちのいいナメの沢でした。(写真⑦)

～追記～

終了点で車に乗り込み、100m ほど進んだところで、黒い物体が車の前を横切った。

もう少しで大人になるサイズの熊だ。

この谷は熊への注意が必要です。気を付けてください。

【コースタイム】

スタート(入渓)	8:00
五郎七郎滝	8:20
岩洞滝	9:15
簗谷大滝	10:00
ゴール(脱渓)	11:45



写真① 入渓してすぐに枝沢へ



写真② ナメ滝を越えて



写真③ 五郎七郎滝



写真④ 沢靴のソールがはがれた！



写真⑤ 簗谷大滝



写真④ 岩洞滝



写真⑦ 最後まで明るいナメが続く



写真⑥ 女性は水が好きだなあ

